

定時性と速達性の確保により **利用者数が約4倍に**

- 日立電鉄線跡地のバス専用道化事業(日立市)-

ひたちBRT

- 日立市では、日立電鉄線の跡地をバス専用道路として整備し、公設民営の『ひたちBRT※』を、平成25年3月より導入しています。(第1期区間=3.3km(久慈~大みか間))
※ BRT(Bus Rapid Transit):バス高速輸送システム
- 平成31年4月には、第1期区間に続き第2期区間(6.9km)が開通、JR常陸多賀駅までがネットワーク化され、市内の公共交通の利用と運行の円滑化を促進しています。

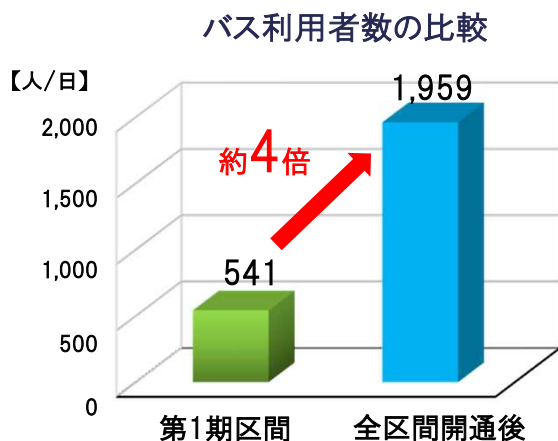
事業効果

- BRT導入により、運行時間は従来路線バスより最大6分短縮されました。
- 第1期では、計画上470人/日の利用者を見込んでいましたが、開業後の利用者数は、541人/日となりました。
- 第2期本格運行開始後は、利用者数が1,959人/日となり、順調に利用者数を伸ばしています。



第2期区間の開通により、久慈~常陸多賀駅(10.2km)のネットワーク化が実現!

公共交通の利用と運行の円滑を促進



整備前



バス専用レーンですいすい運行♪

整備後



～ バス自動運行の実証実験を実施 ～

国土交通省及び経済産業省の平成30年度「高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業:専用空間における自動走行などを活用した端末交通システムの社会実装に向けた実証」のひとつとして、自動運転バスを運行する会実験を行ないました。

[実験期間]

平成30年10月20日(土)~28日(日)



自動運転バス実験車両 (先進モビリティ株)